

丹波篠山市立篠山東中学校 『学習・生活に関する学力向上プラン』

本校では、毎年、中学1、2年生を対象に実施される丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の結果をもとに、『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しています。

以下に、今回の調査結果を分析しまとめましたので報告いたします。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面であることを踏まえつつ、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもと、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めてまいります。今後も引き続き、本校の教育活動に対してご支援いただければ幸いです。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要**【比較について】**

- | | |
|-------------------------|----------|
| ・本校の正答率が全国値に対して+5ポイント以上 | 【高い】と表現 |
| ・本校の正答率が全国値に対して差がない | 【同程度】と表現 |
| ・本校の正答率が全国値に対して-5ポイント未満 | 【低い】と表現 |

○国語科では、

全体の平均正答率は、全国値と同程度です。ただし、「基本」「活用」に分けて比較した場合、「基礎」の力よりも「活用」の力において課題がみられます。特に、「メモを取りながら聞き取る」「文学的文章における表現の効果の理解」において、つまずきがみられます。

○数学科では、

全体の平均正答率は、全国値と同程度の良好な結果です。領域別では、「数と式」「データの活用」は全国値より高く、「関数」は全国値と同程度、「図形」領域だけが全国値より低い状況です。特に、おうぎ形の面積や中心角を求める問題や、文章を読んで数学的に思考する問題に課題がみられます。

○学習習慣・生活習慣等についての意識調査では、

全国値と同程度の項目が多くありましたが、「行事では盛り上がり、団結する」「クラスにはいいところがある」「困っている人がいれば迷わず手助けする」「いじめのさそいを受けたり、嫌がらせ等を受けたりしたことがない」において良好な状況がみられます。一方で、「友だちとけんかしたあと、仲直りのために自分から行動する」「クラスの人々がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがある」においては、課題がみられます。

現在の課題および今後の学力向上方策**○国語科**

上述の通り、つまずきの見られた2領域については、今後の授業で重点的に取り組み、改善を図ります。また、週1回実施している「聞き取りテストにおけるメモの取り方」や「メモを取りながらまわりの話を聞くこと」等を見直します。読み物教材においては、その表現や効果に着目しながら読み深めていきます。

○数学科

「図形」領域については、関連する単元で既習事項の復習を取り入れることで、学習内容の定着を図ります。また、文章問題については、授業で重点的に取り組み、数学的思考力の向上をめざします。

○『学習習慣・生活習慣等についての意識調査』

クラスのことが好きな生徒が多く、お互いに助け合い励まし合う雰囲気があります。学校行事にも協力して取り組んでいますが、素直に自分の非を認めたり、本音を伝え合ったりすることは難しいようです。誰もが安心して学校生活が送れるように、他者の思いを尊重し、学級全員で成長していこうとする集団づくりをめざし、今後も支援してまいります。

【保護者の皆さまへ（お知らせとお願い）】

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人ひとりについての学習のあり方や生活習慣について指導・支援方法を検証し、取組を充実させていきます。ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習のあり方や生活習慣についてご確認いただき、ご支援をよろしくお願いいたします。

子どもたちの持てる力を引き出すには、周囲の大人の支援が必要です。個々の成長、そして、より良い集団形成のためにも、学校と家庭、地域とが互いに連携して子どもたちを支えていけますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。